

## ■実りの秋

夏休みも終わり、日々の臨床はもちろん、学会や行事に忙しい時期となりますが、みなさまご活躍のことと思います。夏休みの全国大会や各種研修会等で、たくさんの実りを先取りされ、活かされている方も多いのではないのでしょうか。

今回のニュースレターは、2010年度の総会報告をはじめとして、昨年度の報告および今年度の活動方針等についてお知らせしています。どうぞ、ご査収ください。

\*\*\*\*\*

## ■目次

- 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 総会報告
  - 2009年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動報告
  - 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動計画
  - 2009年度 日本臨床発達心理士会東京支部 決算報告
  - 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 予算案
  - 第1回 東京支部資格更新研修会報告
  - 東京支部役員会報告
  - 事務局より
- \*\*\*\*\*

## ■ 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 総会報告

●日 時： 2010年5月30日(日) 11:30~12:00

●場 所： 日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

以下の事項についての報告・審議が行われた。

司会の開会宣言の後、市川氏が議長として選出された。東事務局長より定足数の確認が行われ、参加者84名と委任状74名をあわせ、会員615名の4分の1の定足数を満たしたため、総会成立との旨の報告があった。初めに、報告事項として竹谷支部長より2009年度の活動について報告があった。その後、菊地会計より2009年度の決算が報告され、会計監査上野氏より「相違ない」と監査報告がなされた。

次に、審議事項として、竹谷支部長より、2010年度の活動計画と2010年度の予算が提案され、承認された。2010年度の役員と会計監査は、下記の通りと紹介があった。

支部長：竹谷志保子、副支部長・幹事：須田治、副支部長：川間健之介、事務局：東敦子、  
会計：菊地真由美、加藤弘美、研修：宇賀神るり子、小野里美帆、原恵子、大倉滋之、  
山中ともえ、高橋道子、正田康恵、支援学校巡回：黒田美保、文京区巡回：松村裕美、坪井寿子、  
特別支援NW：田中雅子、正田康恵、大隈幸子、菅原眞弓、子育て支援NW：河島恵美子、  
発達臨床研究NW：佐島毅、ニュースレター：中内麻美、小堀あゆみ  
会計監査：上野道子、加茂るり

議事終了後、議長の解任がなされ、閉会となった。

## ■ 2009年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動報告

### 1. 総会の実施

規定に基づき、2009年5月31日(日)筑波大学(大塚)にて総会を開催し、2009年度の活動計画と予算を決定した。

### 2. 研修会・研究会等の開催

<表1>の計画に沿って、研修会を開催した。

### 3. 特別支援教育事業への協力（職域開発）

文京区教育委員会、東京都教育委員会からの依頼により、支部としてスタッフを配置した。

#### 1) 文京区巡回相談

対象校：小学校 20 校、中学校 10 校 巡回担当者 13 名

特別支援教育コーディネーター連絡会への参加

#### 2) 都立特別支援学校（職業技術科）への配置

対象校：2 校（永福学園・継続 280 時間、青峰学園・新規 80 時間） 担当者 4 名

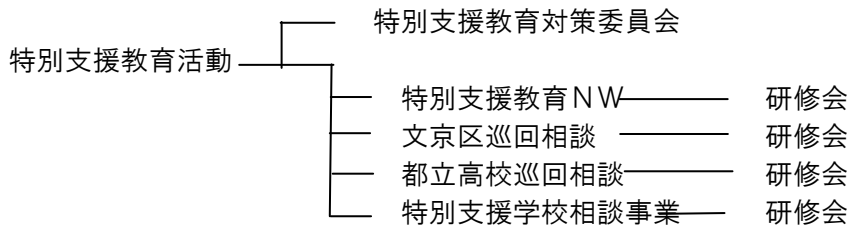
#### 3) 都立高等学校巡回相談

対象校：6 校 巡回担当者名 10 名 配置時間 270 時間

#### 4) 文部科学省「高等学校における発達障害支援モデル事業」

対象校：都立足立東高等学校 担当者：2 名

### 4. 特別支援教育関係の活動について



### 5. ネットワーク作り

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めた。

(ア) 特別支援教育ネットワーク

(イ) 子育て・発達支援ネットワーク（新規）

(ウ) 発達臨床研究ネットワーク（新規）

### 6. ニュースレターの発行

ニュースレターを年 3 回発行し、支部の活動報告や研修予定などを伝えた。

### 7. ホームページの運営（新規）

東京支部のホームページを 6 月に開設し、支部の活動についての情報提供、研修会案内、ネットワーク活動のサポート、ニュースレターの閲覧などができるようにした。

### 8. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

日本臨床発達心理士会幹事会等に出席し、情報共有、発信、提案等を行った。

<表 1> 2009 年度研修内容一覧

研修会	日程
東京支部資格更新研修会 第 1 回	2009年 6月 8日（日）
第 2 回	2009年12月13日（日）
東京都の特別支援教育に携わる臨床発達心理士養成研修 3 日間・全 6 講義	2009年8月10日（月） 2009年10月25日（日） 2010年1月24日（日）
特別支援教育ネットワーク研修（2 回）	2009年 8月10日（月） 2010年1月24日（日）
発達支援ネットワーク研修（3 回）	2009年 7月19日（日） 2009年11月15日（日） 2010年2月13日（土）
発達臨床研究ネットワーク（2 回）	2009年 9月7日（月） 2009年12月20日（土）
文京区巡回相談研修会（3 回）	2009年5月16日（土） 2009年10月 4日（日） 2010年2月12日（金）
高等学校・特別支援学校巡回相談研修会（3 回）	未実施

## ■ 2010 年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動計画

### 1. 総会の実施

規定に基づき、2010 年 5 月 30 日（日）、総会を開催（日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場）し、2010 年度の活動計画と予算を決定する。

### 2. 研修会・研究会等の開催

年 2 回 5 月・11 月に資格更新研修会の開催、各ネットワーク研修会は年 2～3 回の開催を予定している。

### 3. 特別支援教育事業への協力（職域開発）

文京区教育委員会、東京都教育委員会からの依頼により、支部としてスタッフを配置する。

#### 1) 文京区巡回相談

対象校：小学校 20 校、中学校 10 校 巡回担当者 16 名

特別支援教育コーディネーター連絡会への参加

#### 2) 都立特別支援学校（就業技術科）への配置

対象校：2 校（永福学園・青峰学園） 担当者 5 名 配置時間 350 時間、120 時間

#### 3) 都立高等学校巡回相談

対象校：11 校 巡回担当者 12 名 配置時間 40 時間、18 時間、19 時間

継続…大江戸、六本木、世田谷泉、桐ヶ丘、稔ヶ丘、八王子拓真

新規…浅草、新宿山吹、飛鳥、蔵前工業、科学技術

#### 4) 文部科学省「高等学校における発達障害支援モデル事業」

対象校：都立足立東高等学校 担当者：2 名

これまで設置していた「特別支援教育対策委員会」については、特別支援教育関係の活動が安定してきたことにより、設置廃止とする。

特別支援教育関係の支部の活動

都立特別支援学校（就業技術科）巡回相談——研修会  
都立高等学校巡回相談——研修会  
文京区立小中学校巡回相談——研修会  
特別支援教育ネットワーク——研修会  
（特別支援教育に関わる臨床発達心理士養成研修…必要に応じて実施）

### 4. ネットワーク作り

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めていく。

#### (ア) 特別支援教育ネットワーク

特別支援教育に関わる教育を中心にしたネットワークグループ。

#### (イ) 子育て・発達支援ネットワーク

乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク。

#### (ウ) 発達臨床研究ネットワーク

発達臨床研究に携わる研究者を中心としたネットワーク。

### 5. ニュースレターの発行

ニュースレターを年 2 回発行し、支部の活動報告や研修予定などを伝えていく。ホームページ開設に伴い、郵送からメール配信を中心とした方法に切り替えていく予定である。

### 6. ホームページの運営

2009 年度開設した東京支部のホームページの機能を高め、支部の活動についての情報提供、研修会案内、ネットワーク活動のサポート、ニュースレターの閲覧などができるようにしていく。

### 7. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

日本臨床発達心理士会幹事会等に出席し、情報共有、発信、提案等を行っていく。

2009 年度 日本臨床発達心理士会東京支部 会計決算報告

会計期間：2009年4月1日～2010年3月31日

(単位：円)

【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減
1.会費	1,032,000	896,000	-136,000
2.特別支援教育・養成研修	120,000	144,000	24,000
3.支部研修(¥1,000/1講座)	0	73,000	73,000
4.ネットワーク研修(¥1,000/1講座)	0	17,000	17,000
5.ゆうちょ銀行利子	0	7	7
6.前年度繰越金	789,977	789,977	0
合計	1,941,977	1,919,984	-21,993

【支出の部】

1.活動費	支部研修会(2回)	会場費	50,000	53,192	-3,192
		講師謝礼	128,000	72,000	56,000
		運営費	10,000	5,070	4,930
	文京区巡回相談研修会(3回)	会場費	4,800	5,200	-400
		会場費	60,000	18,002	41,998
		講師謝礼	192,000	119,000	73,000
	特別支援教育養成研修会(3回)	運営費	15,000	2,955	12,045
		会場費	20,000	13,134	6,866
		講師謝礼	64,000	10,000	54,000
	特別支援教育NW研修会(2回)	運営費	5,000	7,835	-2,835
		会場費	20,000	0	20,000
	発達支援NW研修会(3回)	講師謝礼	32,000		32,000
		運営費	5,000	4,901	99
		会場費	20,000	0	20,000
発達臨床研究NW(2回)	講師謝礼	0	77,000	-77,000	
	運営費	5,000	0	5,000	
2.事務局運営費	PCソフト代	40,000	34,965	5,035	
	アルバイト代等	120,000	5,305	114,695	
3.HP運営費		70,000	264,961	-194,961	
4.ニュースレター発行費(3回)		458,000	434,871	23,129	
5.通信費		130,000	4,470	125,530	
6.印刷代		100,000	6,858	93,142	
7.会議費		120,000	70,360	49,640	
8.事務用品/備品		130,000	16,266	113,734	
支出合計		1,798,800	1,226,345	572,455	
9.予備費		143,177	0	143,177	
総計		1,941,977	1,226,345	715,632	

差引残高 693,639 円は2010年度東京支部への繰り越し金といたします。

以上、ご報告いたします。

2010年5月30日

日本臨床発達心理士会東京支部  
支部長 竹谷 志保子  
事務局長 東 敦子

会計監査の結果、適正に処理されていた  
ことを認めます。

会計監査 上野 道子、田坂裕子

■ 2010年度 日本臨床発達心理士会東京支部 予算案

【収入の部】

摘要		備考・内訳
2010年度支部会費	1,230,000	2,000円×615名(5/27時点)
2009年度支部会費	160,000	未納者80名 2,000円×80名(3/30時点)
支部研修参加費	180,000	1,000×180名
前年度繰越金	693,639	
A: 収入総計	2,263,639	

【支出の部】

摘要		備考・内訳	
研修会運営費	401,000	支部研修会(2回3講義)	会場費 50,000
		32,000×3人	講師謝礼 96,000
			運営費 10,000
		特別支援教育NW研修会(3回)	会場費 20,000
		32,000×2人	講師謝礼 64,000
			運営費 5,000
		発達支援NW研修会(3回)	会場費 10,000
		32,000×1人	講師謝礼 32,000
	運営費 5,000		
発達臨床研究NW(2回)	32,000×2人	会場費 20,000	
		講師謝礼 64,000	
		運営費 5,000	
文京区巡回相談研修会(3回)		会場費 5,000	
		運営費 5,000	
特別支援学校・高等学校巡回相談研修会(3回)		会場費 5,000	
		運営費 5,000	
事務局運営費	340,000	PCソフト代 40,000	
		事務アルバイト代等 25,000×12ヶ月 300,000	
HP運営費	300,000	運営・通信費等(4,980×12+α)	
ニュースレター発行費(2回)	400,000	印刷+郵送(250円×615名×2回=307,500)	
通信費	130,000	会員への研修案内、事務書類発送等(80×615×2+α)	
印刷代	100,000	総会資料、役員会資料、研修会資料等	
会議費	90,000	役員交通費(2000×15人×3回)2回は交通費無し	
事務用品/備品	50,000	会計印、記録保存・整理用USB、ファイル等	
B: 支出合計	1,811,000		
C: 残高	452,639	予備費、2011年度前期運営費	
総計	2,263,639		

A: 収入総計 2,263,639 - B: 支出合計 1,811,000 = C: 残高 452,639

## ■ 第1回 東京支部資格更新研修会報告

●日時：2010年5月30日

●会場：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

●研修1 午前の部（9：30～11：30） テーマ「思春期・青年期の発達障害」

講師 野沢和弘（毎日新聞社・千葉県「障害者差別をなくすための研究会」委員他）

講師の野沢氏は、重度の遅れをもつ自閉症者の親と新聞記者としての立場から、ご自身の子育ての苦労話を交えながら思春期・青年期の問題について語られました。まず、思春期には自分の障害認知が大切になります。このため、早期の療育の中で、障害認知、家族支援、学校・交友関係のコーディネートをしていることが重要であること、また、問題行動を起こす場合は、その困ったことのみに着目するのではなく、生活環境全体で考え、問題を起こさないようにすることが重要であると語られました。次に近年の発達障害者が加害者となった事件をとりあげ、このような触法障害者に対してイギリスでは、再犯防止のためにその特性にあったプログラムが実施されていることをご紹介いただきました。日本では、事件で注目されても、再犯防止プログラムへつながらないことがわかりました。

●研修2 午後の部（13：00～16：00）

A：臨床発達研究ネットワーク 2010年度第1回研修会報告

テーマ：「観察・事例・ナラティブによる研究の探求 2」

話題提供：須田 治氏（首都大学東京・有資格者）

「情動からケースをとらえるための理論と方法～変化をとらえる視点～」

東 敦子氏（のぞみ発達クリニック・有資格者）

「家族への暴力と盗みを主訴とする発達障害児への支援プロセス」

須田氏より、発達支援における臨床研究の意義についての概論が説明され、特にアスペルガー障害をはじめ、青年期における情動的な人間関係の問題への対応は、行動や認知など目標設定だけでなく、情動自己形成などの発達の視点からのアプローチが重要であることが述べられた。東氏より、情動的な問題を抱える青年期の発達障害児への臨床実践の報告により、支援や変化のプロセスをどう読み取り、解釈するか、発達臨床から発達心理学への回帰と統合についての提案があり、各議論を深めた。参加者も多く、さらに学びを深めたい、研究を身近に感じたなどの意見が多く聞かれ、大変有意義な研修会であった。

B：子育て・保育ネットワーク 2010年度第1回研修会報告

テーマ：「乳幼児期のお子さんを持つ保護者・家族への支援」

話題提供：藤森 寿於美氏（武蔵野市子育てSOS支援センター・有資格者）

乳幼児期に携わる臨床発達心理士は、お子さんへの育児支援、発達支援とともに家族支援が必要であるが、現在様々な支援を必要としている保護者・家族が増えてきている。今回は藤森氏より、中学校から支援センターに相談があり、センター相談員がキーパーソンとなって、保護者への直接的支援と同時に各関係機関への連携をすすめ、継続して支援している事例について発表をしていただいた。中学生の場合、二次的障害が見られる場合が多いが、複雑な家族関係や家庭環境に対して、どのような支援をすすめていくのか専門機関の機能や支援の状況を知る機会となった。その後、3つのグループに分かれ、乳幼児期にどのような支援が必要であったのか、心理士・関係する専門機関、地域をキーワードに話し合いを行った。その中で、キーパーソンの役割、機関同士の連携についての意見が多く出された。そして支援を継続して行うためには、各機関内や各地域内(様々な関係機関同士)で、支援システムを構築していくこと、今ある資源を知り活用することの必要性が話し合われた。その後、都内を2～3エリアに分け、地域ごとの情報交換・交流会を行った。終了後も情報交換・意見交換する様子が多く見られ、今回の主旨であるネットワークづくりの研修会となった。

C：特別支援教育ネットワーク 2010年度第1回研修会報告

テーマ：「特別支援教育の今後について考える」

話題提供：森下 由規子氏（都立石神井特別支援学校・有資格者）

「在籍学級との連携を視野に入れた通級指導学級での実践」

坪井 寿子氏（東京未来大学・有資格者）

「巡回相談の実際～文京区巡回相談より～」

森下氏からは、「在籍学級との連携を視野に入れた通級指導学級での実践」をテーマに通級指導学級教員としての「学級の児童の実態や通級の授業内容・指導内容・連携の実際」など具体的に報告いただいた。坪井氏からは「巡回相談の実際～文京区巡回相談より」をテーマに臨床発達心理士として学校コンサルテーシ

ヨンの実際を報告いただいた。グループ討議では、今回初めて参加するメンバーも多かったので、自己紹介を中心に、各自が携わっている活動紹介や問題点、課題などを情報交換した。最後に日常的にメーリングリストや掲示板で情報交換をすることを確認した。実践報告＋グループ討議というスタイルは参加者から好評で、今後も継続したい。また次回は「自己紹介」の時間がもったいないので、今回と同メンバーのグループ編成を希望する声もあった。参加者の内訳は、教員 26 人（内特別支援学校教員 19 人）心理職が 13 人であった。立場の違いによる支援の役割分担が確認できたと思う。

●研修会についてのアンケートの集計結果—参加者数、研修会に対する満足度、感想、要望について

	非常に満足	おおむね満足	やや不満	大いに不満	総計
研修会の内容について	23 人	24 人	0 人	0 人	47 人

1) 参加者の感想

- ・親の立場からの話で興味深い
- ・事例が多くわかりやすい
- ・青年期・成人期の適応において幼児期・児童期の支援の重要性と課題について考えられた
- ・社会情勢、イギリスの状況を聞いた
- ・マスコミの立場の話でおもしろい
- ・実感がこもって幅広いところがよい
- ・レジュメがあるとよかった

2) 今後研修に取り上げてほしいテーマ（要望）

- ・各種検査について
- ・感覚統合
- ・遺伝的研究
- ・重度の方への支援
- ・思春期・青年期
- ・就労
- ・生活支援
- ・地域ネットワークの構築
- ・社会参加
- ・センター校としての特別支援学校の役割
- ・通常級での特別支援
- ・支援会議
- ・他職種での連携
- ・医師からの話
- ・法律家からの話
- ・発達障害と犯罪
- ・情動

■ 東京支部役員会報告

■日 時：2010 年 5 月 30 日（日）

■場 所：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

■出席者：竹谷、須田、東、田中、正田、菊地、加藤、宇賀神、坪井、大隈、小堀、菅原、高橋河島、（欠席：松村、黒田、大倉、原、小野里、中内、川間、山中、佐島）

● 総会について

委任状の督促がかなり必要である。会員へ協力を要請する。

● 資格更新研修会 92 名参加

● ネットワーク研修会について

ネットワークの意義をアピールするためによかった。

A：発達臨床NW 39 名参加 B：子育てNW 28 名参加 C：特別支援教育NW 39 名参加  
メーリングリストには入らないがHPを見て参加することは可能とする。

● 全国会研修会への協力について

コメンテーターとして須田治、東敦子を推薦する。

● 第 2 回資格更新研修会

11 月午前・午後を予定

午後には発達臨床NW研修会を同時開催。

● NL の印刷

中野特別支援学校へ依頼(3 月、9 月)。

■ 事務局より

● ネットワーク活動について

(1) 3つのネットワーク

東京支部には現在以下の3つのネットワークがあります。活動内容はホームページ上の掲示板にて随時ご紹介していきますのでご覧ください。

① 発達臨床研究ネットワーク

対象：研究者や実践研究を目指す臨床家など

世話人：須田治・東敦子

- ② 子育て・発達支援ネットワーク  
対象：保育園・幼稚園等の巡回、健診、療育などに携わる人  
世話人：河島恵美子・小堀あゆみ・河合真紀子・吉田由紀子
- ③ 特別支援教育ネットワーク  
対象：学校現場で特別支援教育に携わる人  
世話人：田中雅子・正田康恵・大隈幸子・菅原真弓

## (2) ネットワーク研修会の予定

第1回ネットワーク研修会は5月30日に終了し、第2回目以降は、以下のスケジュールを予定しています。今後のネットワーク研修会のご案内は、ホームページへの掲載とメール配信によるのみ行い、郵送は致しませんので、ご了承ください。

- ① 発達臨床研究ネットワーク (2月)
- ② 子育て・発達支援ネットワーク (11月、2月)
- ③ 特別支援教育ネットワーク (8月22日、1月)

## (3) ネットワークメンバーの登録

ネットワークメンバーは、メーリングリストを使って、研修会の準備や情報交換などを行っていきま。複数のネットワークにメンバー登録できますが、研修会の参加はメンバー登録をしていなくても可能です。メンバーは講師の話を受動的に聞くのではなく、自らの実践報告を積極的に発信していただきたいと思。また、ネットワーク掲示板にて研修会や会員の活動の様子などを支部会員に向けて発信してください。

メンバー登録は第1回ネットワーク研修会において受付をすでに開始していますが、ご希望の方は事務局までご連絡ください ([jimu@jocdp-tokyo.net](mailto:jimu@jocdp-tokyo.net))。

## ● ニュースレターについて

ホームページ閲覧による配信を基本としていきます。アドレス登録者にはメールで配信しますので、まだ登録されていない方は至急登録をお願いします。郵送によるお知らせは4月と10月の年2回を予定しています。

## ● 掲示板のパスワード変更について

ホームページに会員専用の以下の4つの掲示板を設置していますので、ご活用ください。

- 会員のひろば(従来の掲示板)
- 特別支援教育NW
- 子育て・発達支援NW
- 発達臨床研究NW

■ 東京支部HPよりメールアドレスの登録をお願いします。 <http://www.jocdp-tokyo.net>

■ 連絡先：東京支部事務局・東 敦子 (のぞみ発達クリニック) [jimu@jocdp-tokyo.net](mailto:jimu@jocdp-tokyo.net)



東京支部ニュースレター2010年度2号(通巻12号) 2010.9発行  
編集:中内麻美・小堀あゆみ(NL担当)